

開放機器紹介

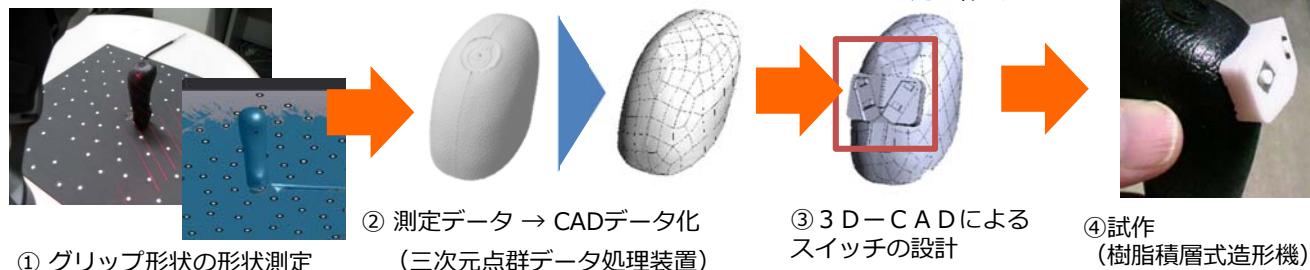
3Dデジタイザー(ハンディ) / 三次元点群データ処理装置

■機器の概要

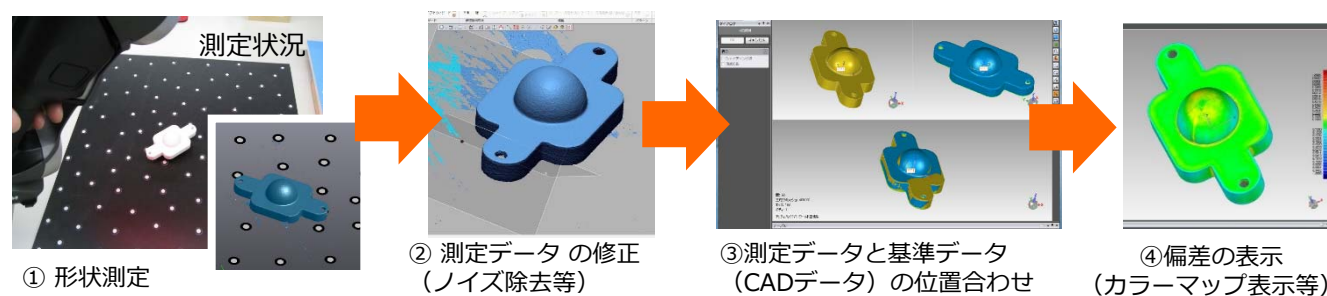
小型・軽量で持ち運び可能なハンディタイプの3次元デジタイザー（スキャナー）です。ノートPCと本体で、測定が可能のため、携帯性、機動性が高く、現場での形状測定に適しています。また、輸送機械等の比較的大型（4m程度）の測定対象物の3次元測定が可能なのが特徴です。

■活用事例

1. リバースエンジニアリングの事例



2. 三次元形状検査の事例



■仕様・留意事項

スキャン範囲	275mm×250mm
パーツサイズ範囲 (推奨)	0.1~4 m
レーザー	クラス 2M (赤色) : クロス (7本) / シングル
解像度 (最小)	0.05 mm
対象物からの焦点距離	300mm
測定速度	480,000 頂点 / 秒



HandyScan700
(CREAFORM社製)

ポリゴン編集機能	穴埋め、間引き、スムージング、部分削除等
モデリング機能	ポリゴンデータから形状輪郭、幾何形状を抽出
モデルデータ作成機能	ポリゴンデータを元にスケッチの作成、スケッチからソリッド、サーフェスの作成
検査・評価機能	3D-CADのデータとポリゴンデータを位置合わせし、カラーマップ等で形状を比較検査
データの入出力	入力: STL, ASCII, IGES, STEP, Parasolid 出力: STL, wrf, IGES, STEP, Parasolid



GeoMagicDesignX/Control
(3DSystems社製)

開放機器使用料：三次元デジタイザー (ハンディ) 650円/時間
三次元点群データ処理装置 480円/時間

担当グループ デザイングループ